※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『地理総合』（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業ごとにプリントを使用したり、ノートに記述したりするなどして学習を進めましょう。
・教科書とあわせて地図を活用し、視覚的に地理を学習できるようにしましょう。
・教科書に載っている内容を説明するだけではなく、『なぜその地理的事象がその地域で見られるのか』を他の生徒との関わりを通して、主体的・対話的に考察、学習していきましょう。
・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を主体的に調べまとめる学習を行いましょう。
・効果的に ICT 機器を活用し、地理的な課題の解決に向けた主体的・対話的な深い学びが行えるようにしましょう。

２　学習の到達目標

①地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
②地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③地理に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図や地理情報システムでとらえる現代社会	・私たちが暮らす世界 ・日本の位置と領域 ・地図や情報処理システムの役割 ・資料から読み取る現代社会	a:地図における記号の意味を理解している。世界地図にそれぞれの国名を当てはめることができる。緯度・経度の意味を理解している。 a:日本の位置と領域、日本が抱える領土問題について、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできる。 b:国家と領域、日本の領土問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 b:様々な種類の地図を比較し、それらの特徴を表現できる。地図に書かれたものを読み取ることができる。資料を分析し、整理することができる。 c:日本の位置と領域に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、捉えようとしている。 c:作図などワークシートの作業を進めている。情報ツールを使って調べ学習を行っている。	小テスト 定期考査	ワークシート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ペアワーク グループワーク 振り返りシー

※令和４年度以降入学生用

	国際理解と国際協力	・生活の多様性と国際理解 ・生活文化と自然環境①地形	a:文化を構成している要素を知識として得ている。文化の多様性を理解している。多様性の背景を知識として得ている。文化と生活が結びついていることを理解している。 a:地形の基本的な知識を得ている。地形と生活が結びついていることを理解する。 b:身近な文化について説明することができる。一つの文化について、日本の地域ごとに比較することができる。日本とその他の国の文化を比較し整理することができる。 b:地図や写真から地形を読み取ることができる。地形が生活にもたらす影響を説明することができる。 c:自国や他国の文化を調べることができる。様々な文化の分布図をグループで協力して作成することができる。	小テスト 定期考査	ワークシート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ペアワーク グループワーク 振り返りシート
2学期	国際理解と国際協力	・生活文化と自然環境②気候 ・生活文化と産業 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・人口問題 ・食糧問題 ・居住・都市問題 ・民族問題 ・持続可能な社会の実現をめざして	a:気候図の基本的な知識を得ている。気候に根差した生活があることを理解している。生活と産業が結びついていることを理解している。 a:世界の様々なニュースに関して、知識を得ている。 b:当該地域の気候を図示することができる。雨温図などのグラフを読み解くことができる、または図示できる。 b:社会課題に対し、自分の意見を表現することができる。 c:ニュースや新聞を読み、まとめることができる。社会課題に対して解決していくための議論することができる。	小テスト 定期考査	ワークシート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ペアワーク グループワーク 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	持続可能な地域づくりと私たち	・日本の自然環境の特色 ・さまざまな自然災害と防災 ・生活圏の調査と地域の展望	a:日本の地形の特徴を把握している。日本の気候の特徴を把握している。 b:様々な自然災害について、調べたことをまとめ、発表できる。防災についての対策を具体的に講じることができる。地域の未来について、具体的な展望を発表することができる。 c:調べ学習を行っている。地域に対する調査を協力して行うことができる。	小テスト 定期考査	ワークシート ペアワーク グループワーク 定期考査	ワークシート ペアワーク グループワーク 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度